

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月2日 (2016.6.2)

【公表番号】特表2015-519355(P2015-519355A)

【公表日】平成27年7月9日 (2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-044

【出願番号】特願2015-514499(P2015-514499)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/28

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 0 7 K 16/46

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 L

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 K 45/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月8日 (2016.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

T L R 3 発現細胞における T L R 3 媒介シグナル伝達を阻害するモノクローナル抗体であって、前記抗体が、前記 T L R 3 ポリペプチドの N 末端部分のグリカンフリー外側面に結合し、前記抗体が、前記抗体と配列番号 1 の野生型 T L R 3 ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号 1 の前記 T L R 3 ポリペプチドの残基 6 4、6 5、8 6、8 9、1 1 2、1 1 3、1 1 5、1 1 7、1 2 0、1 3 7 及び / 又は 1 3 9 に突然変異を有する突然変異体 T L R 3 ポリペプチドとの低減した結合を有する、モノクローナル抗体。

【請求項 2】

前記抗体が、前記抗体と配列番号 1 の野生型 T L R 3 ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号 1 の T L R 3 ポリペプチドの残基 1 1 7 及び 1 2 0 に突然変異を有する T L R 3 ポリペプチドに対し低減した結合を有する、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 3】

前記抗体が、前記抗体と配列番号 1 の野生型 T L R 3 ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号 1 の T L R 3 ポリペプチドの残基 1 1 2、1 1 3 及び 1 1 5 に突然変異を有する T L R 3 ポリペプチドに対し低減した結合を有する、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 4】

前記抗体が、前記抗体と配列番号 1 の野生型 T L R 3 ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号 1 の T L R 3 ポリペプチドの残基 6 4 及び 6 5 に突然変異を有する T L R 3 ポリペプチドに対し低減した結合を有する、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 5】

前記抗体が、ヒト T L R 3 ポリペプチドの前記 N 末端部分との結合について、d s R N A と競合する、請求項 4 に記載の抗体。

【請求項 6】

前記抗体が、前記 T L R 3 ポリペプチドの前記 N 末端部分の前記グリカンフリー外側面と結合しない、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 7】

前記抗体が、前記抗体と配列番号 1 の野生型 T L R 3 ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号 1 の前記 T L R 3 ポリペプチドの残基 D 1 1 6 及び / 又は K 1 4 5 に突然変異を有する T L R 3 ポリペプチドとの結合に有意な低減がない、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 8】

ヒト T L R 3 ポリペプチドによるシグナル伝達を阻害するモノクローナル抗体であって、前記抗体が、以下：

(i) 配列番号 3 の重鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む重鎖；及び / 又は (b) 配列番号 4 の 軽鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む軽鎖；

(i i) 配列番号 1 4 の重鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む重鎖；及び / 又は (b) 配列番号 1 5 の 軽鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む軽鎖；

(i i i) 配列番号 2 5 の重鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む重鎖；及び / 又は (b) 配列番号 2 6 の 軽鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む軽鎖；

(i v) 配列番号 3 6 の重鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む重鎖；及び / 又は (b) 配列番号 3 7 の 軽鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む軽鎖；又は

(v) 配列番号 4 7 の重鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む重鎖；及び / 又は (b) 配列番号 4 8 の 軽鎖可変領域の C D R 1、2 及び 3 アミノ酸配列を含む軽鎖を含むモノクローナル抗体。

【請求項 9】

前記抗体が、抗体 1 1 E 1、3 1 F 6、3 2 C 4、3 7 B 7 又は 7 G 1 1 と、ヒト T L R 3 ポリペプチドとの結合について競合する、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 10】

前記抗体が、T L R 3 発現細胞によってインターナライズすることができる、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 11】

前記抗体が、有毒部分と結合又は共有結合している、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 12】

炎症性又は自己免疫障害の治療に用いるための、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の抗体と、薬学的に許容される担体とを含む医薬組成物。

【請求項 14】

前記抗体が、2 5 m g ~ 5 0 0 m g の量で存在する、請求項 13 に記載の組成物。